

「建設委員会傍聴記」

3月14日（水）午前9時から建設委員会が開かれ、新たな陳情2本が朗読されました。1本は18班地域の住民から「利根川水系の整備とスーパー堤防への疑問」、もう1本は北小岩地域の住民からの「スーパー堤防構想に関連する補助283号線拡幅計画に反対する陳情」です。

◇ **新村委員（生活者ネット）** 北小岩の街づくりはスーパー堤防整備方針を根拠としているのか。

土木部 地域の街づくりと安全性、治水対策などとしても一体化して、整備方針そのもので示している。

新村委員 283号線拡幅問題があるが、岩槻通りの西に緊急障害物除去道路が指定されている。これが優先されるべきでは。

土木部 283号線とは性格が違い、同じ土俵では論じられない。

新村委員 北小岩は碁盤の目のようになっていて。そこに何故？

土木部 市街地としての課題はある。北小岩のこととしてのスーパー堤防ではなく、区全体のことを考えている。今後、色んな課題が出てこようが対応したい。

新村委員 江戸川区全体を考えて、と言うが、どうして北小岩が出てくるのか。カスリン台風でも大丈夫、地盤の高い地、である北小岩の整った街を壊してスーパー堤防とするのか、疑問である。

小侯委員（共産） いかに関民を守るかは同じだ。洪水対策、治水対策という点で順序が違う、と言っているのだ。中川や、荒川左岸はやらないのか。

土木部 急いで取組まなければならぬと思うが、できる所からやる、と言うのが区のスタンスだ。だから北小岩が後ということにはならない。

小侯委員 そこが違う。住民に負担を掛けない、と言うことを区は考えないのか。

他の方法も検討すべき。
土木部 江戸川は強いと言うが、絶対的ではない。

小侯委員 かつて「江戸川区は遊水池となる」の発言があったが、上流でこそ対策を考えるべき。北小岩にスーパー堤防を造って区民の命を守る、と言うのは違う。スーパー堤防は壊れる。今、何が大事かを、区として考えるべきだ。

土木部 他の強化法は上流域で行なわれている。人口密集地では、色々な方策の一つがスーパー堤防、と言うことだ。

小侯委員 昭和24年以降、内水氾濫のみだ。そちらに力を入れるべき。

新村委員 なぜ北小岩なのか、区は住民が納得できる説明をしていない。これが問題なのだ。

◇ **田島委員長（自民）** 本日は継続とする。

その後、4月12日にも建設委員会が開かれ、上篠崎在住の住民から「篠崎13号江戸川緑地広場存続、充実を求める陳情」出されました。趣旨は、篠崎公園地域は区民の憩いの広場として存続すべきで、不要な築堤、盛り度などすべきではない、ということもです。この日は資料要求のあったことに対し、執行部の説明があったのみで、陳情審査は全て継続となりました。



北小岩地区における都市計画道路補助283号線・緊急障害物除去道路を明示した道路地図（江戸川区）